

おわりに

学習指導要領において、情報活用能力（情報モラルを含む。）は、学習の基盤となる資質・能力のひとつであり、児童・生徒の発達の段階を考慮しながら育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図ることとされています。また、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」のための各教科等の指導に当たっての配慮事項として、「情報活用能力の育成を図るため、各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要なICT環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ること」ともされています。これから先、教科等の学びと情報活用能力の育成は「どちらが先」ではなく「どちらも一緒に」ということが言えるでしょう。

このように変化が求められる教育活動に、日々ご対応いただいている教職員の皆さんに、ステップ2までの取組を踏まえて「かわさきGIGAスクール構想」の理念、具体的な教育活動での活用、学校体制づくりなどをお伝えするハンドブック3を作成いたしました。各校における取組に、また自身の授業の改善に、役立てていただければ幸いです。

これからの社会を生きていく子どもたちにとってなくてはならない力の一つである情報活用能力を教育活動全体で育てていくことができるよう、これからも川崎市教育委員会では情報の提供や研修を行い、教職員のみなさんを支援してまいります。

参考文献

- [中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す](#)
2021年1月26日
- [デジタル庁、総務省、文科省、経産省「教育データ利活用ロードマップ」](#) 2022年1月7日
- 文部科学省「小学生キャリア教育の手引き」 2022年3月
- 文部科学省「中学校キャリア教育の手引き」 2011年5月
- 文部科学省「高等学校キャリア教育の手引き」 2011年5月
- 川崎市教育委員会「キャリア在り方生き方教育の手引き」 2014年12月
- 文部科学省中央審議会教育振興基本計画部会（第6回）会議資料 2022年8月23日
- 文部科学省中央審議会教育振興基本計画部会（第5回）会議資料 2022年8月5日
- 川崎市教育委員会「かわさき共生＊共育プログラムエクササイズ集」 2018年3月

参考文献

- ・「いじめ・不登校を生まない かわさき共生＊共育プログラム効果測定活用ハンドブック」2019年3月
- ・文部科学省「人権教育指導方法等の在り方について 第三次とりまとめ 指導等の在り方編」2008年
- ・文部科学省「人権教育指導方法等の在り方について 第三次とりまとめ」補足資料 2021年
- ・外務省「キッズ外務省」<https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/index.html>
- ・文部科学省「外国につながる子供向けの教材が知りたい」
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00663.html
- ・堀田龍也他「GIGA完全対応 学校アップデート＋（プラス）」さくら社 2022年
- ・高橋純「学び続ける力と問題解決」東洋館出版社 2022年
- ・奈須正裕「個別最適な学びと協働的な学び」東洋館出版社 2021年